

目次



宮田工場



苅田工場



小倉工場

目次	01
あいさつ	02
環境理念	03
重点取り組み	04
環境取り組みの状況	05-14
環境経営	15-16
(巻末データ) CO ₂ ・廃棄物・VOC	17

本報告書は2017年度の活動を対象期間としておりますが、一部の項目については対象期間外の活動も含まれます

「社会の一員として共に歩み、心から信頼される企業へ」

1. 地域社会より信頼される取り組み

- ・環境リスク未然防止

2. 地球環境保全への取り組み

- ・低炭素社会の構築に向けた取り組み
- ・循環型社会の構築に向けた取り組み
- ・環境保全と自然共生社会の構築

トヨタ自動車九州(株)はTMK Vision2030を策定し、トップクラスの「環境にやさしいクルマづくり」に努めています。あわせて、良き企業市民として自治体・地域と密にコミュニケーションを図り、地域社会から信頼される企業を目指しています。

トヨタ自動車(株)は2015年10月、『環境チャレンジ2050』を発表し、6つのチャレンジ目標を掲げました。トヨタ自動車九州(株)もグループの一員として、2050年を見据えた新たな取り組みを開始。設計・開発部門の「新車CO2」「ライフサイクルCO2」、生技・製造部門の「工場CO2」をそれぞれゼロにするべく、CO2低減推進体制を整備して活動を強化しています。また、中長期目標として2030年CO2排出▲61%を掲げ、日常改善、革新技术導入、原動力改善、再生可能エネルギー導入を検討しているほか、ボランティア活動を中心に地域貢献や自然共生にも積極的に取り組んでいます。

今後も豊かな自然を守り、サステナブル（持続可能）な社会を実現するため、一人ひとりが「身近な環境課題」を「自分の問題」として捉えてまいります。そして10年先、100年先の地球環境に想いを馳せ、自ら“考動”してまいります。

本報告書を通じ、私たちの環境への取り組みを理解していただくとともに、皆さまから率直なご意見やご指導を賜れましたら幸いです。

環境委員会委員長
専務取締役 橋本克司